



できる事からはじめよう!
「COOL CHOICE」
(クール・チョイス)

- 「COOL CHOICE」(クール・チョイス)は、温暖化対策のために「かしこく選ぶ」という国民運動です。まずは、身近なクール・チョイスを実践しましょう!
- ・使っていない所の電気はこまめに消す。
 - ・便座の設定温度は低めにし未使用時はフタを閉める。
 - ・歯みがきや顔を洗う時は水を出しっぱなしにしない。
 - ・家電製品の買い換え時は、省エネ性能も考慮する。
 - ・夏はゴーヤなどを植えて緑のカーテンをつくり、部屋を涼しくする工夫をする。
 - ・宅配便の受け取りは再配達とにならないように、できるだけ1回で受け取るようにする。



◎問い合わせ

本庁 環境政策課 温暖化対策室
 ☎40-7201 FAX26-5901 ✉kankyoseisaku@city.saga.lg.jp

◎九州エコライフポイント 参加者募集

地球温暖化対策のため、家庭で節電の取り組みをしていただく世帯を募集します。参加申込後、電力会社の検針票3カ月分を送ると、コンビニ等加盟店で使えるポイント券が送付されます。

- 募集期間 5月1日(火)～7月20日(金)
- 募集世帯数 九州全体で先着6,850世帯
- 節電活動期間 7月～9月
- 申込方法 郵便、ファクス、電子メール、ウェブサイト(詳しくは事務局へ)

◎申し込み・問い合わせ

九州版炭素マイレージ制度推進協議会
 ポイント運営管理事務局
 ☎0570-087-335 FAX0570-666-612
 ✉info@q-ecolife.com

佐賀市 掲示板



後期高齢者医療被保険者証の
送付先をご確認ください

8月1日(水)から有効の被保険者証を、7月中旬に簡易書留で郵送します。送付先を変更する場合は、6月末までに届出をお願いします。

■届出に必要なもの

- 窓口に来る人の印かん、本人と確認できる証明証
- ※家族以外が届出者・郵送物受取人の場合は、委任状が必要な場合があります。
- ※郵便局の転送サービスを利用している人は、サービス期限の1年間を過ぎている場合はお届けできませんので、転送期限の確認をお願いします。

◎申し込み・問い合わせ

本庁 保険年金課 後期高齢者医療係
 ☎40-7274 FAX40-7390 ✉hoken@city.saga.lg.jp



その数日本一!
佐賀の恵比須さん
フォトコンテスト展示会

- 日時 6月15日(金)～29日(金)
- 会場 佐賀玉屋5階
- 展示作品
 - ・恵比須フォトコンテスト応募作品全て
 - ・附属小学校3年生(平成29年度)作成「恵比須新聞」

◎問い合わせ

恵比須DEまちづくりネットワーク
 ☎/FAX40-7137 ✉ebisu@sagabai.com

平成29年度佐賀市清掃工場の排ガス測定結果

測定項目	国の基準値	計画設計値	1号炉		2号炉		3号炉	
測定日			H29.7.18	H29.12.25	H29.5.12	H29.11.28	H29.9.11	H29.11.29
ばいじん (g/Nm ³)	0.04	0.02	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
硫黄酸化物 (ppm)	2,900	50	6.0	1.1	10.0	1.0未満	9.1	3.4
窒素酸化物 (ppm)	250	100	83	83	75	72	69	79
塩化水素 (ppm)	430	50	1.8	0.6未満	13.5	0.5	24.6	0.6
測定日			H29. 9.22		H29. 12.21		H29. 9.22	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)※	0.1	0.1	0.00099		0.001		0.0017	

※ダイオキシン類の毒性は、「TEQ」という記号で表し、1ngは10億分の1gです。

◎問い合わせ

循環型社会推進課(佐賀市清掃工場内) ☎30-2430 FAX30-2494 ✉junkan@city.saga.lg.jp

パブリックコメント意見募集結果(佐賀市パブリックコメント制度)

2月1日(木)～3月2日(金)に実施した佐賀市国民健康保険佐賀市第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)および第3期特定健康診査等実施計画に対する意見募集結果を公表します。

案件名	提出者	意見数	問い合わせ
佐賀市国民健康保険佐賀市第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)および第3期特定健康診査等実施計画(案)について	1人	1件	保険年金課 保険企画係 ☎40-7270 FAX40-7390 ✉hoken@city.saga.lg.jp

■公表先 お寄せいただいたご意見と市の考え方は下記公表先にてご覧いただけます。
 市ホームページの「パブリックコメント」、保険年金課(本庁1階)、情報公開コーナー(本庁2階)、各支所総務・地域振興グループ、各市立公民館等

◎問い合わせ
 佐賀市教育委員会
 教育総務課 教育政策係
 (大財別館3階)
 ☎40-73552 FAX40-7394
 ✉kyoiku@city.saga.lg.jp

子どもたちは、毎年3学期の生活科の学習を中心に、友達と一緒に楽しく遊んでいます。
 竹とんぼやぶんぶんゴマを初めて手に取る子どもたちも、工夫しながら少しずつ上手に飛ばせるようになり、毎年とても嬉しそうなお表情を見せてくれます。
 昔遊びの楽しさをみんなで味わうことができる時間となっています。



▲寄贈して下さった株式会社匠美建築工房 岩本重男さん(右)

竹とんぼ・ぶんぶんゴマを寄贈して下さりました

あなたの人権 わたしの人権
 「共に生きるとは」

ヒマラヤのふもとに位置する「世界一幸せな国」といわれるブータン。経済的には決して豊かではないといわれていますが、ブータン人の幸福論には、こんな話があります。
 ブータンへ取材に行った記者がブータンの人に「幸せですか?」と尋ねると、「あなたは幸せですか?」と逆に質問されたそうです。そして、ブータンの人は「あなたが幸せなら、私も幸せ」と答えたそうです。この国には、「まわりの人の幸せが自分の幸せにつながる」といった文化があるそうです。
 自己中心的な考え方が広がっている社会において、「共に生きる」ことのヒントになるような気がします。
 東日本大震災以来、人と人との結びつき、支え合いや助け合いの意味で「絆」という言葉が注目されるようになりました。
 お互いが尊重され、暮らしやすい社会は、一人ひとりの違いを認め、互いに支え合って生きる「共生社会」の実現だと考えます。
 しかし、一方では、誰にもとられない孤独死がきっかけで「無縁社会」という言葉がつけられる世の中です。人権や

◎問い合わせ
 人権・同和政策・男女参画課
 人権啓発係(ほほえみ館内)
 ☎40-7367 FAX34-4549
 ✉jinken@city.saga.lg.jp

地域社会の問題に対して自分には関係ないといった「無関心」の人がいるからかも知れません。
 物質的に恵まれ、より便利になっているのに、私たちは大事なものを失っているような気がします。
 人権や地域社会などまわりの問題に対して、「無関心」から「無」をなくし、意識し、「関心」を持ち、共に生きることにしていることが大切ではないでしょうか。
 (社会同和教育指導員・西 勝弘)
 ※市ホームページにも掲載しています。
 毎月1日は「はじめ・いのちを考える日」です。
 毎月11日は「人権を考える日」です。

